

# 市議会だより

## 市議会第1回定例会

### 平成29年度予算案を審議

平成29年市議会第1回定例会を、2月21日から3月22日までの30日間、開催しました。

この定例会では、条例関係9件、一般議案4件、補正予算8件、新年度予算12件の、合わせて33件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼2月21日の本会議1日目は、会期を30日間と決めた後、議案の説明、市長の施政方針演説が行われ、また、新年度予算を審査するための特別委員会が設置されました。

▼3月2日の本会議2日目は、議案に対する質疑を行い、関市附属機関設置条例の一部改正についてなど12件を可決・承認しました。

関市空家等対策協議会条例の制定について、平成28年度関市一般会計補正予算(第7号)など8件をそれぞれ所管の各常任委員会に、平成29年度関市一般会計予算など12件の新年度予算を特別委員会に付託しました。

その後、代表質問と一般質問を行い、通告者14人のうち4人が、当局の姿勢や方針について質問を行いました。

▼3日の本会議3日目は、5人が一般質問を行いました。

▼6日の本会議4日目は、5人が一般質問を行いました。

▼8日～16日は各常任委員会及び新年度予算特別委員会で付託案件の審査を行いました。

▼22日の本会議5日目は、各常任委員長と新年度予算特別委員長から付託案件の委員会審査結果の報告が行われ、討論、採決の結果、付託されたすべての議案が可決されました。また、追加上程された一般議案1件を可決し、今定例会に付議された案件をすべて議了し閉会しました。

### 代表質問・一般質問

#### 第50回刃物まつり

#### 質問 PR方法は

【答弁】 今年、刃物まつりが50回目

ということ、大きな節目を迎えます。

そこで多くの方に足を運んでいただくために、PR活動が大切だと考えています。そこで、市として首都圏や名古屋での物産展に出展したり、市内業者の方が市外に出店した折には、のぼり旗やグッズの貸出し等によるPRをしていきたいと考えています。

また、本市は高速道路からアクセスしやすい環境にあるため、インターチェンジの出口付近に観光案内看板を設置することが重要だと考えています。現在進行中の刃物ミュージアム回廊整備の完了にあわせて設置をしたいと考えています。

### 大学・専門学校との連携

#### 質問 連携強化の取組は

【答弁】 市内の大学や専門学校には、福祉、スポーツ健康科学、臨床検査、航空技術などの学科があり、専門性が高いことが特徴です。そのため、福祉や健康産業教育、スポーツなどの施策を行っていくうえで、大学等と連携していくことは、より良い施策の実施につながっていくと考えます。

例えば、市独自の子育て施策や高齢者福祉施策において大学の知見を求めると、健康に関するビッグデータを活用した地域特性に応じた健康施策の実施、また、市の産業の特徴として航空産業があるため、関商工高等学校との連携によ

る技術者養成、さらに、市内の小中学校等の部活やスポーツ少年団にトレーニング方法のアドバイスをもらう事業など、大学等の専門性を生かした連携強化を、今後進めていきたいと考えています。

### 施設使用料の減免

#### 質問 考え方は

【答弁】 施設使用料の減免について、現在は、施設使用料の減免の対象者、減免の割合について、施設ごとに統一されていない状況にあるため、減免についての共通基準を定めることとしました。共通基準による主な見直しの内容は、①国、県が使用する場合は、市又は市教育委員会が共催する場合を除いて免除しないこと。②小中学校に加え、保育園、幼稚園、特別支援学校が使用する場合も減免できること。③市内の高等学校が使用する場合は、減額割合の引上げができること。④公共的団体が使用する場合は、免除できることとし、公益性のある活動を行う団体が使用する場合は、減額できること。以上4点が、共通基準による使用料の減免の見直しの主な内容です。なお、共通基準による減免制度の適用開始時期は、平成29年4月1日から適用するものと、平成30年4月1日から適用するものに、区分して実施することとしています。

## 地域委員会

質問 交付金の見直しは

【答弁】 現在、地域振興計画に基づき、地域委員会が実施するまちづくり活動に対し、毎年度、一律300万円を限度に交付金を交付しています。今後は、10年間の地域振興計画のうち、活動開始から3年間は一律300万円を交付し、4年目からは交付金の見直しを考えています。見直しの目的は、①地域の規模に合わせ人口割の積算根拠を設けること。②幅広い年齢層の方々に参加していただけるように事業を工夫していただくこと。の2点です。①では、地域人口で割り出した金額と地域人口が極端に少ない所には地域加算を追加し、これに均等割の活動費200万円を合算することにより、235万円から293万円を基本の配分とします。

②では、子育て応援事業、女性主体事業、若者主体事業を取り組まれた場合に各20万円、ワークショップ事業を取り組まれた場合に5万円を交付することとします。今回の見直しにより、全事業に取り組んでいた場合、人口規模により300万円から358万円の交付となります。交付金の見直しにより、地域委員会の活動を見直すきっかけとしていただきたいと思います。

## 地方創生総合戦略施策

質問 達成状況の検証は

【答弁】 平成28年2月に策定した本市の総合戦略は、43事業が計画に盛り込まれており、それぞれ5年後の31年度の成果指標を定め、事業の進捗度を測るようになっていきます。総合戦略に掲載された事業のうち、「関の工場参観日」は、27年度の参加者数が1800人のところ、28年度は3200人と大幅な増加になっており、単年度で大きな成果が上がったと考えています。また、「ふるさと納税」も31年度の目標金額を1億円と設定しましたが、28年度の寄附金額が、2月末の時点で、27年度の約5倍にあたる約4億1500万円となり、大きな成果があった事業です。

一方、総合戦略を策定し一年を経過した現在で、まだ未着手となっている事業は、女性活躍推進法における女性に特化した支援セミナーであり、これは29年度に開催する予定としています。

## 平成29年度予算

質問 予算編成方針は

【答弁】 新年度予算には「しあわせ」をキーワードとして「やさしさを暮らしに」「消費で地域応援」「刃物のまちを元気に」という3つの強い思いを盛り込み、これ

らのミッションの実現が市民の幸せにつながるものと確信しています。

1つ目のミッション「やさしさを暮らしに」では受益と負担の均衡を図りながら、一方で、障がいのある方や経済的に苦しい家庭の子どもたちなど、弱い立場にある方に対しては、行政の手を差し伸べます。

2つ目のミッション「消費で地域応援」は、市民の皆さんにできる限り市内で消費するという意識をもつていただきたいとの思いから取り組むもので、市内で得たお金を市内で使っていただくことで、市全体の「しあわせ度」が増していくと考えます。

3つ目のミッション「刃物のまちを元気に」では、50回という大きな節目を迎える「刃物まつり」を、未来永劫、伝統ある刃物産業を守っていくことを誓う大切な機会にしたいと思っています。今年度は刃物まつり本番の2日間だけでなく、年間を通した各種イベントの開催により相乗効果を高めることで、「刃物のまち関市」を盛り上げていきたいと考えています。

## ビジネスサポートセンター

質問 今後の課題は

【答弁】 これまでの相談件数については、予想以上に皆さんにご利用いただ

ているという点は評価できると考えますが、ビジネスサポートセンターがどういうことをやっているかという周知の点では、まだまだ十分ではないと考えます。今後も、できる限り周知に努め、より多くの方に利用していただくことが課題の一つであると考えます。また、売上げアップにつながっている例もいくつかありますが、費用対効果という意味では、さらに結果を出していくことが求められていると思いますので、この点も大きな課題であると考えています。

## 子どもの貧困

質問 今後の取組は

【答弁】 子どもの貧困状況については、実態が見えにくく、捉えづらい状態です。貧困の実態調査については、県での実施を要望しています。当面は、現在直面している要保護・準要保護認定者の方々への支援、また、各地域の民生委員児童委員、主任児童委員の見守りや相談などから実態の把握に努め、保護者や子ども、それぞれが置かれた環境に適した支援を実施していきたいと考えています。29年度は、ひとり親家庭の子どもの生活の向上を図る学習支援事業をNPO法人等へ委託していくことや、子どもの居場所づくりを目的とした子ども食堂の開設・運営に補助していくこと等を計画しています。

## 国民健康保険

質問 広域化による影響は

【答弁】 国民健康保険は、事業の安定化を図るため、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、各市町村の国民健康保険事業の健全な運営について中心的な役割を果たすこととなります。市は、被保険者の資格管理、国民健康保険税の賦課、徴収、適正な医療給付及び保健事業を実施することになります。

広域化後、県は、国民健康保険給付費等に充てるため、各市町村から納付金を徴収し、また、市町村ごとの標準保険税率を算定し、負担すべき保険税を示し保険税の見える化を図ります。

今後、市の療養給付費の状況、県から示される標準保険税率及び納付金額を参考に税率の見直しをしていきたいと考えています。

## 投票意識の向上

質問 若者への啓発は

【答弁】 市選挙管理委員会では、小・中・高校生向けの選挙啓発の出前授業を行っています。その中でも主権者教育を行う時期として、最も効果があると言われる中学生に対して、重点的に出前授業を開催していくことや、記載台、投票箱などの選挙資材の貸出しによる模擬投票など

の投票体験を通して、選挙を身近に感じてもらうことを考えています。また、高校生や大学生に向けては、街頭啓発への参加、投票所での案内係や投票用紙交付係の選挙事務を体験していただくことも、投票意識の向上につながるのではないかと考えています。今後、皆さんに民主主義の根幹をなす選挙本来の意義についてお伝えすることで、投票意識が高まっていくことを期待しています。

## 墓地公園の整備

質問 合葬式墓地の整備内容は

【答弁】 合葬式墓地は、個別埋蔵室に1000体、共同埋蔵室に12000体の遺骨を収蔵できる設計になっています。メリットとしては、合葬式墓地に収蔵した後は通常墓地の区画の維持管理が不要となることとが挙げられます。募集件数については現在検討中ですが、募集件数以上の申込みがあった場合は、抽選で使用者を決定する方法を考えています。利用料金の設定については、年間の管理料は無料としますが、永代使用料として個別埋蔵室は18万円程度、共同埋蔵室は6万円程度で検討しているところです。現在は造成工事がほぼ完了していますが、合葬式墓地の建築工事に併せて舗装工事、駐車場整備、植栽を施工する予定で、今年の秋頃から募集を始める見込みで進めています。

## 地域包括ケアシステム構築に向けた地域支援事業

質問 担い手の育成や協議体設置は

【答弁】 現在、地域において、いかにして高齢者の暮らしを守っていくかという課題があり、今後さらに大きな課題になっていくと予測しています。今後は、地域の方企業、NPOなども担い手として含め、支えていかざるを得ないと思われれます。市としては、地域包括ケアシステムを各地域でつくり上げていくうえでも、各小学校区単位で立ち上げ、活動を進めている地域委員会の役割は重要であると考えています。協議体としての機能を地域委員会に依頼し、平成28年度より社会福祉協議会の生活支援コーディネーターの方々にも各地域委員会へ参加していただき、地域委員会と社会福祉協議会が一体となり高齢者を支える仕組みをつくっていく方向で取り組んでいるところです。

## 公共交通網の形成

質問 進捗状況と今後の予定は

【答弁】 本格的な人口減少社会が到来する中で、市は公共交通の維持と質の向上を図るために「関市地域公共交通網形成計画」を策定し、人が住みやすく、移住しやすいまちを目指しています。居住誘導区域のみの公共交通を整備するのではなく、市街地周辺部の居住地域や旧郡部

の地域拠点施設と、居住誘導地域とを結ぶ公共交通サービスの充実と、各地域内の公共交通サービスの充実も図るよう計画しています。

そこで、29年度からはこの計画を基に実施計画を策定し、まちづくり施策と連携したより効果的で持続可能な公共交通網形成に向けて、順次取組を進めていきたいと考えています。

## 学校の再編

質問 今後の計画は

【答弁】 児童生徒数の今後10年間の予測では、市全体で約25%の減少が見込まれています。現段階で再編計画を進めている学校はありませんが、将来的には避けては通れない課題であることから、今後の学校再編に関わる将来展望の中で、小中一貫教育の可能性についても検討を重ねていきたいと考えています。4月からは、全ての小・中学校で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を実施します。学校運営協議会を年に数回は同じ中学校区の小・中学校合同で開催することを予定しており、小・中合同の運営協議会を通じて、小・中の連携をより一層推進すると同時に、小中一貫校にした場合のメリットや課題等についても検討していきます。



# 関市議会 Q & A

Q. 市の予算や決算はどのように審査するの？

A. 地方自治法で市の予算や決算を決めるには議会の議決が必要とされています。市長は新年度の予算を立案し、通常3月の定例会に提出します。提出された予算は、議長を除く全議員で構成される予算特別委員会において詳しく審査された後、本会議で採決します。

一方、前年度の決算は8～9月頃までに資料を作成し、通常9月の定例会に提出されます。こちらは3つの常任委員会に付託されて詳しく審査されたのち、本会議で認定するかどうかを採決します。決算審査において議員から出された意見や提言などは、次年度の予算編成に反映されていきます。

## ◆関市議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴できます。

また、本会議開会時間のみ、市議会ホームページにおいて市議会ライブ中継を放送していますので、こちらもぜひご覧ください。また、議員の質問については、録画配信を行っています。

■照会先 議会事務局（☎23—9068）

# 審議の結果

一般議案		条例関係										議案名	審議結果
訴えの提起	工事請負契約の締結（西本郷一ツ山線道路整備その2工事）	中濃地域広域行政事務組合規約の変更に関する協議	関市文化会館条例の一部改正	関市生涯学習センター条例の一部改正	関市水道事業の設置等に関する条例の一部改正	関市空家等対策協議会条例の制定	関市林業振興施設条例の一部改正	関市介護保険条例の一部改正	関市税条例等の一部改正	関市職員の給与に関する条例の一部改正	関市附属機関設置条例の一部改正	議案名	審議結果
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	議案名	審議結果

新年度予算			補正予算			一般議案	議案名	審議結果
平成29年度関市水道事業会計予算	平成29年度関市特別会計予算（10件） 【国民健康保険／下水道／財産区／中小企業従業員退職金共済事業／食肉センター事業／農業集落排水事業／公設地方卸売市場事業／介護保険事業／有線放送事業／後期高齢者医療】	平成29年度関市一般会計予算	平成28年度関市特別会計補正予算（6件） 【国民健康保険（第3号）／下水道（第5号）／財産区（第3号）／中小企業従業員退職金共済事業（第2号）／農業集落排水事業（第4号）／介護保険事業（第3号）】	平成28年度関市一般会計補正予算（第7号）	専決処分の承認【平成28年度関市一般会計補正予算（第6号）】	財産の取得（刃物ミュージアム回廊整備事業用地）	議案名	審議結果
可決	可決	可決	可決	可決	承認	可決	議案名	審議結果

## ★ 地域に貢献する企業を応援 ★



平成28年4月の熊本地震の際には自社トラックで市に寄付された支援物資を熊本まで運んでいただきました。

4月10日、市内で運送業を営むエルテックサービス(株)(武芸川町八幡)さんが、自社のトラックに関市の観光PRのラッピングを施していただき、関市役所においてお披露目をしていただきました。同社の岩倉宏幸社長さんから直接、私に提案があったのが昨年末。「全国各地を走るトラックで、荷物と一緒に関市の“魅力”も運びたい」と、4トン車と10トン車の2台にすべて無料でラッピングをしていただきました。岩倉社長さんは、昨年4月に発生した熊本地震の際にも被災地へ支援物資を社長さん自らが運転してボランティアで搬送していただきました。こうした地域貢献のお気持ちに心から感謝と敬意を表します。熊本地震から1年が過ぎました。一日も早い復興を願うとともに、災害への備えや防災の取り組みのさらなる充実を図っていききたいと思います。

今年度の市の重点事業として、「地域経済循環」を掲げています。市内でお金を使う機会を増やし、市内の企業やお店の売り上げがあがるような仕組みづくりに取り組んでいきたいと思えます。企業の社会貢献活動を市として応援するため、セミナーやワークショップなどを開催したり、そうした活動や企業を広くPRするような事業を展開していきます。ふるさと“関市”を思い、地域に貢献する企業がどんどんと増えて、そうした魅力ある市内の企業やお店で市民の皆さんが買い物をすることで地域経済が循環していけば、地域経済の活性化につながっていくと考えています。



関市の観光PRを施したトラックが日本全国を走ります!

## 市役所の人事異動

4月1日付で、285人の人事異動を行いました。課長級以上の異動は次のとおりです。※( )内は旧任

### 【部長級】

- ▽市民環境部長(都市整備課長) 大桑哲生
- ▽建設部参事(岐阜県長良川上流河川開発工事事務所工務課長) 戸田健吾
- ▽議会事務局長(スポーツ推進課長兼総合体育館長) 村山寿和

### 【課長級】

- ▽企画部付課長兼板取事務所長兼板取地域教育事務所長(板取診療所事務長兼板取保健センター所長) 三島健明
- ▽企画部付課長兼武儀事務所長兼武儀地域教育事務所長(生活環境課課長補佐) 和座宏之
- ▽企画部付課長兼上之保事務所長兼上之保地域教育事務所長(上之保事務所課長補佐) 丸屋英二
- ▽福祉部付課長兼岐阜県後期高齢者医療広域連合派遣(企画部付課長兼武儀事務所長兼武儀地域教育事務所長) 西川英文
- ▽子ども家庭課長兼むげがわ児童館長(総務管財課主幹兼監査委員事務所局長兼選挙管理委員会事務局次長) 島田美佳
- ▽市民課長(企画部付課長兼上之保事務所長兼上之保地域教育事務所長) 長屋勝則
- ▽商工課長兼中濃公設地方卸売市場兼消費生活センター長(文化課長兼文化会館長) 武藤好人
- ▽観光交流課長兼関鍛冶伝承館長(商工課長兼中濃公設地方卸売市場兼消費生活センター長) 横山伸治
- ▽農務課長兼農業委員会事務局局長兼食肉

センター所長(観光交流課長兼関鍛冶伝承館長兼刃物ミュージアム回廊推進室長) 西部成敏

- ▽都市整備課長兼区画整理室長(子ども家庭課長兼むげがわ児童館長) 安田肇
- ▽教育総務課長(教育総務課主幹兼関市学校給食センター事務長) 水野一生
- ▽文化課長兼文化会館長(市民課課長補佐兼西部支所長) 後藤基次
- ▽スポーツ推進課長兼総合体育館長(農務課長兼農業委員会事務局局長兼食肉センター所長) 足立光明
- ▽関商工高等学校副校長(岐阜県教育委員会) 増田文代
- ▽関商工高等学校教頭(岐阜県教育委員会) 錦見喜朗
- ▽関商工高等学校事務長(建設総務課課長補佐) 坂口和憲

### 【転出者】(3月31日付)

- ▽岐阜県(建設部参事) 渡辺誠治
- ▽岐阜県教育委員会(関商工高等学校副校長) 服部弘幸
- ▽岐阜県教育委員会(関商工高等学校教頭) 長谷川繁樹

### 【退職者】(3月31日付)

- ▽(市民環境部長) 井藤敏博
- ▽(議会事務局局長) 片桐淳
- ▽(企画部付課長兼板取事務所長兼板取地域教育事務所長) 長屋史夫
- ▽(市民課長) 長尾直志

- ▽(教育総務課長) 宇佐見秀秋
- ▽(関商工高等学校事務長) 漆畑廉

◆照会先 職員課 ☎23-6814



3月16日～4月15日にあった  
市内の話題を中心にをご紹介します。

# あんなこと、 こんなこと



関市イメージキャラクター  
「関＊はもみん」

## 春の陽気に恵まれスタート!

3月19日、春らしい穏やかな天候の中、毎年恒例の「刃物のまち関シティマラソン」が開催されました。全国から集まった約2,700人のランナーは、多くのボランティアや沿道からの応援に支えられながら自分のペースでゴールを目指しました。



## パパ＊パスポート完成!

4月から、父親の育児参加を推進するため、関市父子手帳「パパ＊パスポート」の交付が始まりました。父親が持ちやすいデニム柄のシンプルなデザインで、子どもの成長記録を書き込む欄などを設け、子育てへの関心を高めるような内容を掲載しています。保健センターで母子手帳と一緒に配布します。



## ラグビーワールドカップを盛り上げます

ラグビーワールドカップが2019年に日本で行われます。アジアでは初開催地となります。これを記念して4月から、特別仕様ナンバープレートが発行されました。4月10日には、市の公用車にもさっそく取り付けられ、関市として大会を熱く盛り上げ応援していくことを示しました。



## 新たな観光PR や誘客への第一歩

4月3日、関市観光協会が市から独立し、一般社団法人として設立されました。協会が市の司令塔となり、市の魅力を広く発信して国内外からの観光誘客に努めることで、産業経済の活性化や地域文化の振興を目指します。今後は、より効果的で専門的な観光PRや誘客事業に取り組みます。



## 「しあわせ」が詰まった絵本です

3月18日、第1回せきえほんコンクールの表彰式が開催されました。せきえほん大賞に選ばれた瀬尻小学校 尾関日乃佑さんの「小瀬川のアユ太郎」は、せきえほん制作プロジェクト実行委員会により製本され、関市立図書館、市内の学校などへ寄贈されました。

